

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	12-6
PDCA	主要事業名	畜産臭気監視事業	部課名	市民経済部環境課	担当	森下
					内線	21-4001
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 年度 全体事業費等： 726 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.04.07.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 800 千円					
	事業概要等	事業概要： 良好な住環境を確保するため、畜産施設から発生する臭気が基準を超過して いないか監視する。また、大同大学との共同研究で得た知見を基に、経済課 と連携し、本市の長年の課題である畜産臭気問題の解決を図る。				
		事業目的： 良好な生活環境を保全するため、畜産ふん尿から発生する臭気について継続 的な監視を行う。				
		事業内容： 畜産臭気低減マニュアルと簡易臭気センサー、堆肥水分計を活用し、経済課 と連携して、畜産農家に対して臭気に関する指導・助言等を行う。				
		問題点・課題等： 畜産農家にとって、臭気対策のための費用が大きな負担となる場合があり、 費用をかけてまで対策を行う必要性を如何に理解してもらうかが課題である。				
	予算額	主要事業とする理由				
	726 千円	本市における畜産業は都市近郊型が特徴で、住宅地に到達する畜産臭気の低減が長年の 課題となっているため。				
	財源内訳	得られる成果				
	市費	住宅地に到達する畜産臭気を低減することにより、周辺住民の居住環境が改善される。				
	726 千円					
	国費					
	0 千円					
県費						
0 千円						
その他						
0 千円						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				
	526 千円	令和元年度94.4%、令和2年度94.5%だった臭気指数15以下の畜産施設の割合が96.3%へ 上昇し、周辺の居住環境の改善につながっている。				
	成果指標		令和3年度		単位	
	臭気指数15以下の畜産施設の割合		実績値	96.3	%	
			目標値	100.0	%	
	C 課題の整理	<b>C</b> 経済課（現産業課）との連携による継続した臭気測定と畜産農家への結果通知、強い臭 気が発生している施設に対する指導・助言などにより、ほとんどの畜産施設において目 標数値である臭気指数15以下が達成されている。また、強い臭気が発生している施設の 一部において、乾燥施設の拡張やバイオマス発電施設でのふん尿の処理など、臭気の低 減につながる取組みを実施していただくことができた。 臭気は個人による感じ方に差があるため、測定数値が基準を満たしていても、においを 不快と感じる住民をゼロにすることが難しいことが課題である。				
		<b>A</b> 畜産農家に臭気低減を意識した経営を行ってもらえるよう、今後も定期的に臭気測定を 実施し、指導・助言を行う。また、より効率的でコスト低減ができるような畜産臭気監 視事業の実施方法を検討する。				
	A 今後の課題の方向性	<b>改善推進</b> 畜産農家に臭気低減を意識した経営を行ってもらえるよう、今後も定期的に臭気測定を 実施し、指導・助言を行う。また、より効率的でコスト低減ができるような畜産臭気監 視事業の実施方法を検討する。				
必要性		有効性		効率性		
①市の関与の妥当性		法定事務	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削	ある
②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適 正化余地	-	

目標項目（予算計上時に作成）  
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）  
主要施策の成果報告書で活用